

[平成 2 1 年度設置]

福岡教育大学大学院 教育学研究科

教職実践専攻（専門職学位課程）

【教職大学院】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福岡教育大学

平成 2 2 年 5 月 1 日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 教職大学院係長 ^{イケナガ}池永 ^{トモ}朋

電話番号 0 9 4 0 - 7 2 - 6 0 1 2

（夜間） 0 9 4 0 - 7 2 - 6 0 1 2

F A X 0 9 4 0 - 3 5 - 1 7 4 6

e - mail iketomo@fukuoka-edu.ac.jp

目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	11
3	施設・設備の整備状況	14
4 - (1)	既設大学等の状況	15
4 - (2)	既存の教員養成分野における研究科等の状況	17
5	教員組織の概要	24
6	留意事項に対する履行状況等	30
7	情報提供に関する事項	32

教職大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福岡教育大学

(2) 大学名

福岡教育大学大学院

(3) 大学院の位置

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

(注)・大学院の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長			
学 長	(オオゴ タダシ) 大後 忠志 (平成18年2月)	(テラオ シンイチ) 寺尾 慎一 (平成22年2月)	大後忠志学長の任期が平成22年2月19日付けで満了したため。(22)
研究科長	(ヤシロ マサノリ) 屋代 正範 (平成20年4月)	(オキタ タクオ) 沖田 卓雄 (平成22年4月)	屋代正範研究科長の任期満了に伴う交替。(22)
専 攻 長	(未定)	(コイズミ レイゾウ) (タカダ キヨシ) 小泉 令三 高田 清 (平成22年4月) (平成21年4月)	教職実践専攻から推薦された高田清教授が学長から任命された。(21) 高田清専攻主任の辞任に伴い、教職実践専攻から推薦された小泉令三教授が学長から任命された。(22)

(注) 「変更状況」は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成22年度に報告する内容 → (22)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

(5) - 調査対象研究科の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	認 可 時 の 計 画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教職実践専攻（P） 教職修士（専門職）	2 年	20 人	40 人	〔教職実践力開発コース〕 確かな学校教育活動の即戦力となる実践的指導力をもち，同時に新しい教育実践を構想し開発していく展望と力量をもつ教員を養成する。 〔生徒指導・教育相談リーダーコース〕 子どもが学校に適応できるように，学校全体の生徒指導・教育相談等の取り組みをリードし，学校内外の関係者や機関をコーディネートできるとともに，地域の諸学校のネットワークで指導的な役割を果たすことができる資質・能力を身につけた教員を養成する。 〔学校運営リーダーコース〕 優れた授業力と確かな実践的指導力をベースとして，それらの力を若い教師や学年組織および学校全体へと拡げ学校組織の活性化のリーダーとなるとともに，地域の諸学校等の研究会においても中心的役割を担うことができる教師力と指導力を持ったスクールリーダーを養成する。

（注）・「備考」は，各コースが目指す人材育成像を簡潔に記入してください。

(5) - (a) 調査対象研究科等の入学者の状況（概要）

（教職実践専攻）

区 分	対象年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
A 入学定員			20 人	20 人	1.10倍	
志願者数			20	32		
受験者数			20	30		
合格者数			20	26		
B 入学者数			19	25		
入学定員超過率 B / A			0.95	1.25		

（教育実践力開発コース）

区 分	対象年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
A 入学定員			10 人	10 人	1.25倍	
志願者数			10	23		
受験者数			10	21		
合格者数			10	17		
B 入学者数			9	16		
入学定員超過率 B / A			0.90	1.60		

（生徒指導・教育相談リーダーコース）

対象年度 区 分	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
A 入学定員		5 人	5 人	1.10倍	
志願者数		5	6		
受験者数		5	6		
合格者数		5	6		
B 入学者数		5	6		
入学定員超過率 B / A		1.00	1.20		

（学校運営リーダーコース）

対象年度 区 分	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平均入学定員 超 過 率	備 考
A 入学定員		5 人	5 人	0.80倍	
志願者数		5	3		
受験者数		5	3		
合格者数		5	3		
B 入学者数		5	3		
入学定員超過率 B / A		1.00	0.60		

（注）・コース毎に記入してください。

・「平均入学定員超過率」は、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

（ 5 ） - （ a ） 調査対象研究科等の在学者の状況（概要）

（教職実践専攻）

対象年度 学 年	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
1 年次		19	25	1（一身上の都合により平成 2 2 年 3 月 3 1 日付で退学）
2 年次			18	
計		19	43	

（教育実践力開発コース）

対象年度 学 年	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
1 年次		9	16	1（一身上の都合により平成 2 2 年 3 月 3 1 日付で退学）
2 年次			8	
計		9	24	

（生徒指導・教育相談リーダーコース）

対象年度 学 年	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
1 年次		5	6	
2 年次			5	
計		5	11	

（学校運営リーダーコース）

対象年度 学 年	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
1 年次		5	3	
2 年次			5	
計		5	8	

（注）・コース毎に記入してください。

(5) - (b) 調査対象研究科等の入学者の状況 (学生の区分毎)

(教育実践力開発コース：平成 2 1 年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	0	0	0	0	0	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	1	5	7	6	1	9	学部新卒者以外1名含む。 (中学校1, 高校1)
		無							
		小 計	1	5	7	6	1	9	

(教育実践力開発コース：平成 2 2 年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	0	0	0	0	0	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	3	11	14	13	1	16	学部新卒者以外3名含む。 (小学校1, 中学校3, 高校3)
		無							
		小 計	3	11	14	13	1	16	

(生徒指導・教育相談リーダーコース：平成21年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	3	1	0	0	4	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	3	1	0	0	4	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度	0	3	1	0	0	4	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	3	1	0	0	4	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有	0	0	1	1	0	1	教職経験を持った社会人を 記載した。
		無							
		小 計	0	0	1	1	0	1	

(生徒指導・教育相談リーダーコース：平成22年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	4	1	0	0	5	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	4	1	0	0	5	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	計	派遣制度	0	4	2	0	0	6	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	4	2	0	0	6	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有							
		無							
		小 計	0	0	0	0	0	0	

(学校運営リーダーコース：平成21年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	4	0	0	0	4	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	4	0	0	0	4	
	福岡市 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度	0	4	1	0	0	5	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	4	1	0	0	5	

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有							
		無							
		小 計	0	0	0	0	0	0	

(学校運営リーダーコース：平成22年度入学者)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	2	0	0	0	2	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	2	0	0	0	2	
	福岡市 教育委員会	派遣制度	0	1	0	0	0	1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	1	0	0	0	1	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度	0	3	0	0	0	3	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	3	0	0	0	3	

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有							
		無							
		小 計	0	0	0	0	0	0	

(注) ・ コース毎、年度毎に記入してください。

- ・ 学部新卒者で教員免許を複数所持している場合は、該当する校種（幼稚園～特別支援学校）の区分すべてに記入し、小計には実数を記入してください。
- ・ 現職教員で、自費で通っている学生等がいる場合は、適宜欄を設けて記入してください。

(5) - - (b) 調査対象研究科等の在学者の状況 (学生の区分毎
(教育実践力開発コース：平成 2 1 年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	0	0	0	0	0	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	1	5	7	6	1	9	学部新卒者以外1名含む。 (中学校1, 高校1)
		無							
		小 計	1	5	7	6	1	9	

(教育実践力開発コース：平成 2 2 年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	0	0	0	0	0	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	4	15	20	18	2	24	1 (一身上の都合により平成 2 2 年 3 月 3 1 日付で退学) 学部新卒者以外4名含む。(小学校1, 中学校4, 高校4)
		無							
		小 計	4	15	20	18	2	24	

(生徒指導・教育相談リーダーコース：平成21年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	3	1	0	0	4	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	3	1	0	0	4	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	3	1	0	0	4	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	0	0	1	1	0	1	教職経験を持った社会人を 記載した。
		無							
		小 計	0	0	1	1	0	1	

(生徒指導・教育相談リーダーコース：平成22年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	7	2	0	0	9	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	7	2	0	0	9	
	福岡市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	北九州市 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	計	派遣制度	0	7	3	0	0	10	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	7	3	0	0	10	

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	0	0	1	1	0	1	教職経験を持った社会人を 記載した。
		無							
		小 計	0	0	1	1	0	1	

(学校運営リーダーコース：平成21年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	4	0	0	0	4	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	4	0	0	0	4	
	福岡市 教育委員会	派遣制度	0	0	1	0	0	1	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	1	0	0	1	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	4	1	0	0	5	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有							
		無							
		小 計	0	0	0	0	0	0	

(学校運営リーダーコース：平成22年度)

区 分			幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	福岡県 教育委員会	派遣制度	0	6	0	0	0	6	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	6	0	0	0	6	
	福岡市 教育委員会	派遣制度	0	1	1	0	0	2	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	1	1	0	0	2	
	北九州市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	0	0	0	0	0	0	
	計	派遣制度	0	7	1	0	0	8	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		合 計	0	7	1	0	0	8	
学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有							
		無							
		小 計	0	0	0	0	0	0	

(注) ・ コース毎、年度毎に記入してください。

- ・ 学部新卒者で教員免許を複数所持している場合は、該当する校種（幼稚園～特別支援学校）の区分すべてに記入し、小計には実数を記入してください。
- ・ 現職教員で、自費で通っている学生等がいる場合は、適宜欄を設けて記入してください。
- ・ 退学者がいる場合は、「備考」に人数及び具体的理由を記入してください。

2 授業科目の概要

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数				授業形態			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	由	講義	演習	実験 実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	教育課程の編成及び実施に関する領域													Aを付している授業科目は教育実践力開発コース、Bは生徒指導・教育相談リーダーコース及び学校運営リーダーコースの選択必修科目を表す は福岡教育大学が独自に設定した領域 集中 集中で行う予定であったが、時間割調整の結果通常での開講が可能となったため
	学習指導要領と現代教育の課題A	1前	2			○			1					
	学習指導要領と現代教育の課題B	1前	2			○			1					
	カリキュラムマネジメントの実践と課題	1後	2				○			1				
	教科等の実践的な指導方法に関する領域													
	教科教育の実践と指導方法の改善A	1前	2				○		1	1				
	教科教育の実践と指導方法の改善B	1前	2				○		2					
	授業分析・リフレクションの理論と実践	1前	2				○			1				
	生徒指導及び教育相談に関する領域													
	生徒指導の理論と実践A	1前	2				○			1				
	生徒指導の理論と実践B	1前	2				○		1					
	学校カウンセリングの方法	1前	2				○			1				
	学級経営及び学校経営に関する領域													
	教育改革の動向と学校経営の課題A	1後	2			○				1				
	教育改革の動向と学校経営の課題B	1後	2			○			1					
	学校教育と教員の在り方に関する領域													
コース別選択科目	教員の職業倫理とスクールコンプライアンス	1前	2			○			1					は福岡教育大学が独自に設定した領域 集中 集中で行う予定であったが、時間割調整の結果通常での開講が可能となったため
	教職プロフェッションの開発と教職キャリアデザイン	1後	2				○		1					
	特別支援教育に関する領域													
	学級における特別支援教育の課題と実践	1前	2			○			1					
	学級における特別支援教育のケース研究	2前	2			○			1					
	学級経営のPDCAと学習環境デザイン	1前	2				○			1				
	地域・保護者対応・連携のワークショップ&シミュレーション	2前	2				○		3 2 3					
	教材研究力の開発	1前	2				○			1				
	教材開発ワークショップ	1後	2				○		1					
	授業実践・授業改善シミュレーション	1後	2				○			1				
	教育連携フィールドワーク	1後	2				○			1				
	教育実践研究の理論・方法・評価	1後	2				○		1					
	授業分析・研究トライアル100	2通	2				○		3 2 3	1				
	総合的な学習の時間カリキュラムの開発と評価	2後	2				○			1				
	教職リーガルマインド&危機管理スキル実践	2前	2				○							
	課題演習 - 1	1前	1				○		3 2 3	2				
	課題演習 - 2	1後	1				○		3 2 3	2				
	課題演習 - 3	2前	1				○		3 2 3	2				
	教育実践力開発プレゼンテーション	2後	1				○		3 2 3	2				
	行動連携のための教育臨床心理学	2後	2				○							
	予防・開発的教育相談	2前	2				○		1					
	生徒指導の機能を生かした学習指導の支援	1前	2				○		1					
	発達援助の理論と実践	2前	2			○								
	特別支援教育における学校外資源との連携	2後	2				○		1					
	心理教育的援助サービスの理論と実践	1後	2				○			1				
	教育的ニーズの把握と評価	1後	2				○			1				
	子どものキャリア発達支援	1後	2				○		1					
	課題演習 - 1	1前	1				○		2	1				
	課題演習 - 2	1後	1				○		2	1				
	課題演習 - 3	2前	1				○		2	1				
	生徒指導・教育相談リーダープレゼンテーション	2後	1				○		2	1				

実 習 科 目	校内研究の開発と組織化	2前	2				○	1						
	教育研究ファシリテーション・ワークショップ	未開講 2前		2			○		1					履修希望者がいなかったため(22)
	教科内容研究と教材開発	1後	2				○	1						
	教育研究の計画と評価	1後	2				○	1						
	授業分析・リフレクションのワークショップ	1前		2			○	1						
	学校間連携・地域連携マネジメント	2前	2				○	1						
	学校の危機管理	2後	2			○								
	メンタリング＆コーチングの理論と実践	1前	2				○							
	学校マネジメント開発リサーチ	1後		2			○							兼中 担当教員が育児休業及び平成22年3月辞職のため 授業担当者変更(22)
	学校評価システムと改善戦略	2前		2			○							
	カリキュラム・マネジメントと評価	1前		2			○							
	教員員のメンタルヘルス＆ストレス・マネジメント	2後		2			○							
	地域教育資源の開発ワークショップ	2後	2				○	1						
	課題演習 - 1	1前	1				○	4	1					
	課題演習 - 2	1後	1				○	4	1					
	課題演習 - 3	2前	1				○	4	1					
	学校運営リーダープレゼンテーション	2後	1				○	4	1					
	T A実践インターンシップ	1前	3				○	3 2 3	2					就任辞退(21) 平成21年6月変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
	教育実践コラボレーション実習	1前	2				○	3 2 3	2					就任辞退(21) 平成21年6月変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
	T A実践インターンシップ	1後	3				○	3 2 3	2					就任辞退(21) 平成21年6月変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
	教育実践力開発実習	2前	2				○	3 2 3	2					就任辞退(21) 平成21年6月変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
	特別支援教育インターンシップ	2後	1				○	1						
	教育実践発展実習	2前	3				○	3 2 3	2					就任辞退(21) 平成21年6月変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
	学校適応支援実習	2通	4				○	1	1					
	学校カウセリング実習	1前	2				○	1	1					
	学習指導支援実習	2前	5				○	1	1					
	学校適応アセスメント実習	1後	3				○	2	1					
	教育連携コラボレーション実習	1前	2				○	4	2					
	教育実践メンタリング実習	2前	5				○	4	1					
	学校組織マネジメント実習	1後	3				○	5	1					
	教育研究ファシリテーション実習	2前	2				○	4	1					
	教育研究ファシリテーション実習	2後	2				○	4	1					

- (注)・ 設置認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しとした部分については、黒字で記載してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)

(2) 授業科目数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 55	科目	科目 18	科目 73	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目・・・該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目・・・該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) 認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況

区 分	認可時の計画	変更状況	備 考
【施設】 < 大学全体 > 講義室 演習室 実験実習室 その他教室	5 3 室 6 8 室 8 4 室 1 3 室		授業期間中 月～金 8：40～ 17：00 1室のみ 17：00～ 21：00 休業期間中 1室のみ 月～金 8：40～ 17：00
（語学学習施設） 図書館	1 室 座席数 390席 （開架閲覧室の外にグループ学習室2，戦前戦後教科書室を設置）		平日8：30～21：30 土日祝日10：30～ 17：00 （休業期は休館）
< 教職実践専攻関係 > 講義室	2 室（各28名収容） 1 室（77名収容）	2 室（各33名収容） 1 室（60名収容）	授業形態によって機の配置等で有効活用ができるようにした。（21） 授業形態によって機の配置等で有効活用ができるようにした。（21）
教材開発室 資料室 会議・図書室 大学院生室 教員研究室 非常勤講師室	1 室 1 室 1 室 2 室（各20名収容） 1 4 室 1 室		
【設備】 図書	図書507,000冊【外国書111,000冊】 学術雑誌9,100種【外国雑誌2,100種】 視聴覚資料1,800点 電子ジャーナル3,400タイトル データベース3点	図書525,007冊【外国書113,288冊】 図書516,834冊【外国書112,690冊】 学術雑誌9,301種【外国雑誌2,108種】 学術雑誌9,122種【外国雑誌2,107種】 視聴覚資料2,440点 視聴覚資料2,174点 電子ジャーナル4,425タイトル 電子ジャーナル3,964タイトル データベース4点	図書等の充実を図った。（22） 大学全体で共用
その他設備 （ ）			

- (注) ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
- ・ 学部等との共用関係がある場合は、学部、研究所、他研究科等の名称を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しとした部分については、黒字で記載してください。
- ・ 「その他教室」には、「教育相談室」「ミーティングルーム」等が整備されている場合は、適宜記入してください。
 - ・ 「自習室」「図書館」「パソコン室」については、「備考」に利用可能時間等を記入してください。

4 - (1) 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	福 岡 教 育 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
初等教育教員養成課程	4	300	-	1,120	学士（教育学）	1.07	昭和58年度	福岡県宗像市赤間文教町1番1号	入学定員変更 平成21年度 260→300
中等教育教員養成課程	4	130	-	500	学士（教育学）	1.08	昭和58年度		入学定員変更 平成21年度 120→130
特別支援教育教員養成課程	4	50	-	200	学士（教育学）	1.07	平成2年度		平成20年度名称 変更
	4	55	-	240	学士（福祉社会 教育） 学士（国際共生 教育）	1.15	平成8年度		入学定員変更 平成21年度 65→55
環境情報教育課程	4	40	-	230	学士（情報教 育） 学士（環境教 育）	1.08	昭和59年度		入学定員変更 平成21年度 75→40
生涯スポーツ芸術課程	4	55	-	230	学士（音楽） 学士（芸術） 学士（スポーツ 科学）	1.08	昭和61年度		入学定員変更 平成21年度 60→55
大学院教育学研究科 （修士課程）								福岡県宗像市赤間文教町1番1号	
教育科学専攻	2	80	-	160	修士（教育学）	0.82	平成21年度		平成21年度から 学生募集停止
学校教育専攻	2	-	-	15	修士（教育学）	-	昭和58年度		
特別支援教育専攻	2	-	-	8	修士（教育学）	-	昭和58年度		
国語教育専攻	2	-	-	8	修士（教育学）	-	平成2年度		
社会科教育専攻	2	-	-	8	修士（教育学）	-	平成8年度		
数学教育専攻	2	-	-	8	修士（教育学）	-	昭和59年度		
理科教育専攻	2	-	-	10	修士（教育学）	-	昭和61年度		
音楽教育専攻	2	-	-	7	修士（教育学）	-	昭和58年度		
美術教育専攻	2	-	-	8	修士（教育学）	-	昭和61年度		
保健体育専攻	2	-	-	7	修士（教育学）	-	昭和58年度		
技術教育専攻	2	-	-	7	修士（教育学）	-	平成4年度		
家政教育専攻	2	-	-	7	修士（教育学）	-	昭和58年度		
英語教育専攻	2	-	-	7	修士（教育学）	-	平成2年度		

大 学 の 名 称	福 岡 教 育 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
特別支援教育特別専攻科 特別支援教育特別専攻	年 1	人 30	年次 人 -	人 30	-	倍 0.53	昭和49年度	福岡県宗像 市赤間文教 町1番1号	

（注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部，学部の学科，短期大学の学科及び高等専門学校学科について，大学，短期大学又は高等専門学校ごとに，平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には，各修業年限に相当する期間（学年進行中の場合は，設置後経過した年数分）における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。

なお，学生募集停止中の学部等については，「-」を記入するとともに，「備考」に「平成○年度から学生募集停止」と記入してください。

4 - (2) 既存の教員養成分野における研究科等の状況

【教育学研究科教育科学専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	-	1	1	平成 2 1 年度設置
		修学休業制度	-	1	1	
		勤務継続	-	3	2	
		その他	-			
		小計（ a ）	-	5	4	
	学部新卒者（ b ）		-	49	63	
	社会人学生（ c ）		-	5	7	
	計（ d = a + b + c ）		-	59	74	
入学定員（ e ）		-	80	80		
定員超過率（ d / e ）		-	0.73	0.92		

【教育学研究科学校教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	3	-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度	1	-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	4	-	-	
	学部新卒者（ b ）		11	-	-	
	社会人学生（ c ）		3	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		18	-	-	
入学定員（ e ）		15	-	-		
定員超過率（ d / e ）		1.20	-	-		

【教育学研究科特別支援教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	1	-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止 平成 2 2 年 3 月 3 1 日 廃止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	1	-	-	
	学部新卒者（ b ）		6	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		7	-	-	
入学定員（ e ）			8	-	-	
定員超過率（ d / e ）			0.87	-	-	

【教育学研究科国語教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		3	-	-	
	社会人学生（ c ）		1	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		4	-	-	
	入学定員（ e ）		8	-	-	
定員超過率（ d / e ）		0.50	-	-		

【教育学研究科社会科教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		5	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		5	-	-	
入学定員（ e ）		8	-	-		
定員超過率（ d / e ）		0.62	-	-		

【教育学研究科数学教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止 平成 2 2 年 3 月 3 1 日 廃止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		10	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		10	-	-	
入学定員（ e ）			8	-	-	
定員超過率（ d / e ）			1.25	-	-	

【教育学研究科理科教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		10	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		10	-	-	
入学定員（ e ）		10	-	-		
定員超過率（ d / e ）		1.00	-	-		

【教育学研究科音楽教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	1	-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止 平成 2 2 年 3 月 3 1 日 廃止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	1	-	-	
	学部新卒者（ b ）		4	-	-	
	社会人学生（ c ）		4	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		9	-	-	
	入学定員（ e ）		7	-	-	
定員超過率（ d / e ）		1.28	-	-		

【教育学研究科美術教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		4	-	-	
	社会人学生（ c ）		1	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		5	-	-	
	入学定員（ e ）		8	-	-	
定員超過率（ d / e ）		0.62	-	-		

【教育学研究科保健体育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	2	-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	2	-	-	
	学部新卒者（ b ）		4	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		6	-	-	
入学定員（ e ）			7	-	-	
定員超過率（ d / e ）			0.85	-	-	

【教育学研究科技術教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止 平成 2 2 年 3 月 3 1 日 廃止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）		-	-	
	学部新卒者（ b ）		7	-	-	
	社会人学生（ c ）			-	-	
	計（ d = a + b + c ）		7	-	-	
	入学定員（ e ）		7	-	-	
定員超過率（ d / e ）		1.00	-	-		

【教育学研究科家政教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度		-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続	2	-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	2	-	-	
	学部新卒者（ b ）		1	-	-	
	社会人学生（ c ）		1	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		4	-	-	
	入学定員（ e ）		7	-	-	
定員超過率（ d / e ）		0.57	-	-		

【教育学研究科英語教育専攻（M）】

（単位：人）

区 分			平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	2	-	-	平成 2 1 年度から学生募集停止 平成 2 2 年 3 月 3 1 日 廃止
		修学休業制度		-	-	
		勤務継続		-	-	
		その他		-	-	
		小計（ a ）	2	-	-	
	学部新卒者（ b ）		1	-	-	
	社会人学生（ c ）		2	-	-	
	計（ d = a + b + c ）		5	-	-	
	入学定員（ e ）		7	-	-	
定員超過率（ d / e ）		0.71	-	-		

（注）・ 学生募集停止中の研究科・専攻等については，「-」を記入するとともに，「備考」に「平成○年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の概要

(1) 教員組織・担当科目の状況

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任 等 の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任 等 の別	職名	氏 名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
⑦	教授	高田 清 (61)	平成21年4月	学習指導要領と現代教育の課題A 教育実践研究の理論・方法・評価 授業分析・研究トライアル100 授業分析・リフレクションのワ・ク ショップ 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インターンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インターンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習						(前) 30 (後) 18 (集) 20
⑦	教授	小泉 令三 (53)	平成21年4月	生徒指導の理論と実践B 予防・開発的教育相談 生徒指導の機能を生かした学習指導の 支援 子どものキャリア発達支援 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 生徒指導・教育相談リ・ダ・プレゼン テーション 学校適応支援実習 学校カウンセリング実習 学習指導支援実習 学校適応アセスメント実習						(前) 30 (後) 16 (前) 2 (後) 2
⑦	教授	納富 恵子 (51)	平成21年4月	学級における特別支援教育の課題と実 践 学級における特別支援教育のケ・ス研 究 特別支援教育における学校外資源との 連携 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 生徒指導・教育相談リ・ダ・プレゼン テーション 特別支援教育インターンシップ 学校組織マネジメント実習 学校適応アセスメント実習						(前) 8 (後) 20 (前) 2
⑦	教授	京極 邦明 (58)	平成21年4月	教科教育の実践と指導方法の改善B 教材開発のワ・クショップ 教科内容研究と教材開発 教育研究の計画と評価 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 学校運営リ・ダ・プレゼンテーション 教育連携コラボレーション実習 教育実践メンタリング実習 学校組織マネジメント実習 教育研究ファシリテーション実習 教育研究ファシリテーション実習						(前) 26 (後) 20 (集) 20
⑦	准教授	若木 常佳 (47)	平成21年4月	教科教育の実践と指導方法の改善A 授業分析・リフレクションの理論と実 践 教材研究力の開発 授業実践・授業改善シミュレーション 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インターンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インターンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習						(前) 30 (後) 16 (集) 20
⑦	准教授	西山 久子 (43)	平成21年4月	生徒指導の理論と実践A 学校カウンセリングの方法 心理教育的援助サ・ビスの理論と実践 教育的ニ・ズの把握と評価 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 生徒指導・教育相談リ・ダ・プレゼン テーション 学校適応支援実習 学校カウンセリング実習 学習指導支援実習 学校適応アセスメント実習						(前) 28 (後) 18

③	准教授	大竹 晋吾 (35)	平成21年4月	カリキュラムマネジメントの実践と課題 総合的な学習の時間カリキュラムの開発と評価 教育研究ファシリテーション・ワークショップ 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 学校運営リ・タ・プレゼンテーション 教育連携コラボレーション実習 教育実践メンタリング実習 学校組織マネジメント実習 教育研究ファシリテーション実習 教育研究ファシリテーション実習						(前) 24 (後) 18 (集) 20
③・他	准教授	鈴木 邦治 (河口) (41)	平成21年4月	教育改革の動向と学校経営の課題A 教育連携フィールドワーク 教育連携コラボレーション実習						(後) 2 (集) 50 (前) 2 (後) 2
③④	教授	福田 敏雄 (54)	平成21年4月	地域・保護者対応・連携のワークショップ&シミュレーション 授業分析・研究トライアル100 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インタ・ンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インタ・ンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習	③④	教授	青木 晃司 (53)	平成21年10月	地域・保護者対応・連携のワークショップ&シミュレーション 授業分析・研究トライアル100 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インタ・ンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インタ・ンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習	就任辞退による担当 の変更(21) 平成21年6月変更書 提出予定(21) 平成21年7月教員審 査済(22) (前) 28 (後) 16 (集) 20
③④	教授	森 保之 (52)	平成21年4月	教職プロフェッションの開発と教職 キャリアデザイン 学校間連携・地域連携マネジメント 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 学校運営リ・タ・プレゼンテーション 教育連携コラボレーション実習 教育実践メンタリング実習 学校組織マネジメント実習 教育研究ファシリテーション実習 教育研究ファシリテーション実習						(前) 26 (後) 16 (集) 20
③④	准教授	花島 秀樹 (47)	平成21年4月	学校経営のPDCAと学習環境デザイン 授業分析・研究トライアル100 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インタ・ンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インタ・ンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習						(前) 28 (後) 16 (集) 20
③⑤	教授	東 和男 (61)	平成21年4月	教科教育の実践と指導方法の改善B 学習指導要領と現代教育の課題B 校内研究の開発と組織化 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 学校運営リ・タ・プレゼンテーション 教育連携コラボレーション実習 教育実践メンタリング実習 学校組織マネジメント実習 教育研究ファシリテーション実習 教育研究ファシリテーション実習						(前) 30 (後) 14 (集) 20
③⑤	教授	谷 友雄 (60)	平成21年4月	教育改革の動向と学校経営の課題B 地域教育資源の開発ワークショップ 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 学校運営リ・タ・プレゼンテーション 教育連携コラボレーション実習 教育実践メンタリング実習 学校組織マネジメント実習 教育研究ファシリテーション実習 教育研究ファシリテーション実習						(前) 24 (後) 18 (集) 20
③⑤	教授	段 裕明 (61)	平成21年4月	教科教育の実践と指導方法の改善A 教員の職業倫理とスキルコンプライ アンス 授業分析・研究トライアル100 課題演習 - 1 課題演習 - 2 課題演習 - 3 教育実践力開発プレゼンテーション TA実践インタ・ンシップ 教育実践コラボレーション実習 TA実践インタ・ンシップ 教育実践力開発実習 教育実践発展実習						(前) 30 (後) 16 (集) 20

兼担	教授	山元 悦子 (46)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	豊嶋 啓司 (48)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	飯田 慎司 (50)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	森藤 義孝 (44)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	教授	高梨 芳郎 (60)	平成21年4月	教材研究力の開発 教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	岩崎 洋一 (61)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	教授	木村 次宏 (50)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	佐藤 完児郎 (59)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	教授	相部 保美 (55)	平成21年4月	教材研究力の開発 教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	甲斐 純子 (53)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	教授	古川 稔 (57)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	准教授	河野 智文 (40)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	准教授	清水 紀宏 (40)	平成21年4月	教材研究力の開発	兼担	教授	清水 紀宏 (41)	平成21年10月	教材研究力の開発	平成21年10月1日付で 教授へ昇任(22)
兼担	准教授	安藤 秀俊 (48)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発	兼担	准教授	坂本 恵明 (41)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発	平成21年3月退職による 担当者の変更(21)
兼担	准教授	草尾 和之 (49)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	准教授	貴志 倫子 (35)	平成21年4月	教材研究力の開発						
兼担	准教授	有川 誠 (49)	平成21年4月	教科内容研究と教材開発						
兼担	准教授	末富 芳 (34)	平成21年4月	学校マネジメント開発リサ・チ	兼任	講師	露口 健司 (39)	平成21年10月	学校マネジメント開発リサ・チ	育児休業及び平成22年 3月退職による担当者 の変更(22)
兼担	准教授	中島 義実 (41)	平成21年4月	行動連携のための教育臨床心理学						

兼任	准教授	中山 健 (42)	平成21年4月	発達援助の理論と実践						
兼任	講師	小田 泰司 (35)	平成21年4月	教材研究力の開発	兼任	准教授	小田 泰司 (35)	平成21年4月	教材研究力の開発	平成20年10月1日付で 准教授へ昇任(21)
兼任	講師	八尾坂 修 (58)	平成21年4月	カリキュラム・マネジメントと評価						
兼任	講師	元兼 正浩 (43)	平成21年4月	学校の危機管理 学校評価システムと改善ストラテジ						
兼任	講師	増田 健太郎 (50)	平成21年4月	メンタリング&コ・チングの理論と実践 教職員のメンタルヘルス&ストレス・ マネジメント						
兼任	講師	倉本 哲男 (45)	平成21年4月	教職リ・ガルマインド&危機管理スキル 実践						

- (注)・認可時における完成年度までに授業を担当するすべての教員(助手を除く。)について記入してください。
(認可申請書の様式第3号(その1の1)に準じて作成してください。)
- ・「変更状況」には、変更があった教員についてすべて赤字で記入し、「備考」にその理由、報告年度を()書きで記入してください。
 - ・就任予定年月を過ぎてもなお未就任の者については、「変更状況」の「就任年月」を赤字で記入し、「備考」にその理由、報告年度を()書き、当該教員の担当予定科目についての措置等を記入してください。
 - ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・退職者は「備考」に退職年月、理由を記入してください。
 - ・2年目以降に更なる変更があった場合には、異動者について、前年度の赤字を黒字に戻した上で当該年度の変更を赤字で追加記入してください。「備考」についても同様の記入方法としてください。
 - ・「専任・兼任・兼任等の別」については、下記の表の分類の順に、それぞれの記号を記入してください。

分 類	記 号
専任教員	①
専任ではあるが、他の学部・大学院の専任教員	①・他
実務家・専任	②・①
実務家・みなし専任(年間6単位以上の授業を担当し、かつ、専門職大学院のカリキュラム編成等の運営に責任を有する者)	②・み
兼任(学内の他学部等の教員)	兼任
兼任(他の大学等の教員)	兼任

- ・「専任・兼任・兼任の別」については、専任・兼任・兼任の別を専任・兼任・兼任の順に記入してください。
- ・「職名」には、教授・准教授・講師・助教・助手の別を記載するとともに、専任及び兼任教員については、それぞれの区分の中で、教授・准教授・講師・助教・助手の順に記載してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」には、当該年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・「備考」には、教職大学院の毎週担当授業時数、学部、教職大学院以外の大学院の毎週担当時数の「計」をそれぞれ記入してください。(兼任・兼任教員は記入する必要がありません。)
- また、「毎週担当授業時数」の記載に当たっては、
(ア) (前)は前期、(後)は後期、(集)は集中講義又は集中面接授業を記入してください。
(イ) 集中講義については、総時間数を記入してください。
- (ウ) 実験・実習やオムニバス方式による授業などで、学期の一部の期間を担当する場合、担当時間数を通年の時は30週、半期の時は15週で除した時間数を記入してください。(例:後期開講科目の実習がある教員が10時間担当する場合 10(時間)÷15(週) 0.7
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていなかった場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。また、「専任教員採用等設置計画変更書(AC)」を提出し、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「○年○月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」に()書きで記入してください。(記入例参照)
- なお、「専任教員採用等設置計画変更書(AC)」作成要領(c)に該当するものである場合は、「備考」にその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 科目別教員数一覧

区分	職名	科目分類									合 計	備 考
		共通科目							分野別 科 目	実習科目		
		領域	領域	領域	領域	領域	領域	小 計				
④	教 授	(1) 1	(1) 1	(1) 1	()	()	(1) 1	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	
	准教授	(1) 1	(1) 1	(1) 1	()	()	()	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
④・他	教 授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	准教授	()	()	()	(1) 1	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
⑤・④	教 授	()	()	()	()	(1) 1	()	(1) 1	(2) 2	(2) 2	(2) 2	就任辞退(21) 平成 2 1 年 6 月変更 書提出予定(21)
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	(1) 1	(1) 1	(1) 1	平成 2 1 年 7 月教員 審査済(22)
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
⑤・み	教 授	(1) 1	(2) 2	()	(1) 1	(1) 1	()	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
兼 担	教 授	()	()	()	()	()	()	()	(1 1) 1 2	()	(1 1) 1 2	平成 2 0 年 1 0 月講 師から准教授へ昇任 (21)
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	(9) 8	()	(9) 8	平成 2 1 年 1 0 月准 教授から教授へ昇任 (22)
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	(1)	()	(1)	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	平成 2 2 年 3 月准教 授に昇任(22)
兼 任	教 授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	授業担当者変更の ため(22)
	准教授	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	(4) 5	()	(4) 5	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
合 計	教 授	(2) 2	(3) 3	(1) 1	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(8) 8	(2 0) 2 1	(9) 8	(2 0) 2 1	
	准教授	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	()	()	(4) 4	(1 4) 1 3	(5) 5	(1 4) 1 3	
	講 師	()	()	()	()	()	()	()	(5) 5	()	(5) 5	
	助 教	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

(注) ・ 「区分」「職名」は、前ページ(1)の注により整理してください。
「科目分類」は、設置認可申請に係る補正申請書提出時の「『教育課程等の概要』における計画」を
記入し、上段()内の専任教員等の配置」の分類と一致させてください。また、各欄の教員数につい
ては、下段に現在の状況を記入し、変更があった場合には、当該部分にアンダーラインを引いて、「備
考」に変更理由を付記してください。

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退等含む）等の理由
1	⑤・⑥	福田 敏 雄	福岡県教育委員会からの要請により、実務家教員として派遣される教員が変更となったため

(注)・ 認可時の計画からの専任教員交代の理由について、できるだけ具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

福田敏雄氏が担当する予定であった平成21年度前期の授業科目は、教育実践力開発コースの「課題演習 - 1」、「T Aインターンシップ」及び「教育実践コラボレーション実習」の3科目である。

「課題演習 - 1」については、研究者教員2人と実務家教員3人の複数指導体制により、ゼミ形式の授業（個別指導とグループ討議）により、継続的な指導を行う。

「T Aインターンシップ」及び「教育実践コラボレーション実習」については、学校における実習科目で、研究者教員2人と実務家教員3人で巡回指導を行う。

以上のような授業形態から、設置初年度であり2年次生の授業がないこと、3科目とも5人で担当する授業であること等、今回の1人の変更による他の4人への負担増は、通常の業務に大きく支障を与えるものではないと判断した。また、平成21年度後期からの授業については、平成21年6月に変更書を提出する予定である。

学生へ周知は、授業の開始前の変更であり特に支障がないと判断し、特に行っていない。

(注)・ 専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成20年12月24日)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実践を融合して専ら幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	教職大学院の設置の趣旨・目的を踏まえ設置計画が確実に実行できるよう、教職実践専攻の運営体制を整備した。 また、学生に対しては、履修ガイドブックを配布し入学時のオリエンテーションにおいて各授業の到達目標と評価の判断基準等を示すことで、本学の教職大学院の養成する教師像を明確にした。 さらに、大学全体でのF D委員会の外に専攻内にF D委員会を組織し、F D活動の活性化を図り教育研究活動の水準の向上に努めている。(21) 毎年、全学F D委員会で学生による授業評価が実施されており、平成21年度は大学院教育学研究科の全開講科目について授業評価が実施された。更に教職実践専攻では、平成22年2月に、教職大学院の科目について院生によるアンケートを実施した。結果を各コース主任が分析し、改善案を検討して、3月の次年度オリエンテーションにおいて学生にフィードバックした。 またF D活動の一環として専任教員全員の授業科目について、内容及び指導方法等の共通理解を図るための検討会を開催し、研究者教員と実務家教員によるT Tの効果的な導入方法等について検討して、授業改善を行うなど、教育の水準を向上させるための取組を継続して実行している。(22)	
	全学的な協力体制のもと、デマンドサイドの要望を踏まえた教職大学院となるよう、教育内容及び運営について福岡県教育委員会も参画した評価体制及び評価結果を教育内容や運営に適切に反映させる仕組みの構築を図ること。	教職大学院が全学的な協力体制のもと、また、恒常的に教育委員会等デマンドサイドと密接に連携し、充実した教育研究が行われるように、教職大学院の運営に関する協議を行うための「福岡教育大学教職大学院運営協議会規程」及びその下部組織として「福岡教育大学教職大学院連携協力会議規程」を制定した。 平成21年4月28日第1回教職大学院運営協議会を開催し、平成21年度の教員研究活動について協議を行った。 さらに、教育研究活動のあり方、授業等の成果の評価及び改善策等について教職大学院連携協力会議において協議する予定である。(21) 【21年度開催状況】 ・運営協議会 - 第1回：4/28、第2回：11/16、第3回：3/24 ・連携協力会議 - 第1回：6/19、第2回：9/17（課題演習発表会を同時開催） 平成21年度第3回運営協議会から、デマンドサイドの要望を反映させるために、各教育委員会からも議題を提案することとした。(22)	

設置計画履行状況 調 査 時 (平成22年2月5日)	「理論と実践の融合」という教職大学院の基本的教育理念の具現化のために、TTなど実務家教員と研究者教員との協同による教育を一層実効性ある形で進めること。また、運営面でも両者の協力体制を強化し、ひいては教育委員会と大学との連携の強化に努めること。	平成21年度前期から、一部の科目でTTなど実務家教員と研究者教員の協働による取組を実施しているが、後期からは、全授業科目の内容及び指導方法等の共通理解を図るための検討会において、組織的に実効性のあるTTの組み方等を協議した上で、授業科目に導入している。 専攻主任及びコース主任は研究者教員を置いているが、実務家教員2名の専攻主任補佐を置くことで、教職大学院の運営面においても両者の協力体制を強化した。 また、教職大学院運営協議会（教育委員会も委員として出席）に、教育委員会との交流人事による実務家教員2名を委員として出席させることとし、現在、協議会規程の改正を進めている。(22)	
	教職大学院の設置の趣旨が活かされるよう、入学者の質に留意しつつ、入学者の適切な確保に努めること。	平成21年度は、前年度の反省を踏まえ、入学者確保のための取組として広報活動の改善を実施した。また、現職教員の教職大学院への志望を高めるための経済的支援策として、県派遣現職教員の入学者については入学料を免除することとした。 平成22年度実施の入学試験においては、志願者は32名あり、26名を合格とした。合格者のうち25名が入学しており、定員を満たしている。(22)	

- (注)・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成22年 6月 予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.fukuoka-edu.ac.jp/education/graduate_course/index.html)

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(○○大学)」としてください。